

旧市立図書館解体工事

GEN 総 合		A 建築（意匠）		B 建築（構造）		C 給排水衛生設備		D 空気調和設備		E 電気設備	
図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名	図面番号	図 面 名
01	表紙・図面リスト	01	【撤去】外部・内部仕上表 1	01	【撤去】伏図 1	01	【撤去】給排水衛生設備工事 配管系統図	01	【撤去】空気調和設備工事 機器リスト	01	【撤去】電気設備工事 配置図
02	特記仕様書 1	02	【撤去】外部・内部仕上表 2	02	【撤去】伏図 2	02	【撤去】給排水衛生設備工事 屋外配管図	02	【撤去】空気調和設備工事 配管系統図	02	【撤去】電気設備工事 受変電単線結線図
03	特記仕様書 2	03	【撤去】外部・内部仕上表 3	03	【撤去】杭図	03	【撤去】給排水衛生設備工事 地下1階配管図	03	【撤去】空気調和設備工事 地下1階配管図(1)	03	【撤去】電気設備工事 中央監視盤姿図 動力一覧表 動力操作盤 分電図 結線図
04	特記仕様書 3	04	【撤去】地下1階平面図	04	【撤去】基礎梁リスト	04	【撤去】給排水衛生設備工事 1階配管図	04	【撤去】空気調和設備工事 地下 1 階配管図(2)	04	【撤去】電気設備工事 電灯 1/100動力操作回路系統図
05	付近見取図・配置図	05	【撤去】1階平面図	05	【撤去】軸組図 1	05	【撤去】給排水衛生設備工事 2階配管図	05	【撤去】空気調和設備工事 1階配管図	05	【撤去】電気設備工事 地下1階配管配線図 動力差込
06	仮設計画図 1（参考図）	06	【撤去】2階平面図	06	【撤去】軸組図 2	06	【撤去】給排水衛生設備工事 3階配管図	06	【撤去】空気調和設備工事 2階配管図	06	【撤去】電気設備工事 1階配管配線図 動力差込
07	仮設計画図 2（参考図）	07	【撤去】3階平面図	07	【撤去】柱リスト	07	【撤去】給排水衛生設備工事 屋1階配管図	07	【撤去】空気調和設備工事 3階配管図	07	【撤去】電気設備工事 2階配管配線図 動力差込
08	仮設計画図 3（参考図）	08	【撤去】屋階平面図	08	【撤去】梁リスト 1	08	【撤去】給排水衛生設備工事 衛生器具表	08	【撤去】空気調和設備工事 屋1階配管図	08	【撤去】電気設備工事 3階配管配線図 動力差込
09	仮設計画図 4（参考図）	09	【撤去】西立面図	09	【撤去】梁リスト 2	09	【撤去】給排水衛生設備工事 厨房配管詳細図	09	【撤去】空気調和設備工事 自動制御系統図	09	【撤去】電気設備工事 屋階配管配線図 動力差込
10	仮設計画図 5（参考図）	10	【撤去】東立面図	10	【撤去】梁リスト 3	10	【撤去】給排水衛生設備工事 消火栓詳細図			10	【撤去】電気設備工事 地下1階配管配線図 電灯
11	仮設計画図 6（参考図）	11	【撤去】南立面図	11	【撤去】矩計配筋図 1	11	【撤去】給排水衛生設備工事 屋外引込配管図			11	【撤去】電気設備工事 1階配管配線図 電灯
12	仮設計画図 7（参考図）	12	【撤去】北立面図 1	12	【撤去】矩計配筋図 2					12	【撤去】電気設備工事 2階配管配線図 電灯
13	仮設計詳細図（参考図）	13	【撤去】北立面図 2	13	【撤去】床版リスト					13	【撤去】電気設備工事 3階配管配線図 電灯
14	既存杭図 1	14	【撤去】断面図 1	14	【撤去】雑配筋図					14	【撤去】電気設備工事 屋階配管配線図 電灯
15	既存杭図 2	15	【撤去】断面図 2	15	【撤去】壁伏図 1					15	【撤去】電気設備工事 照明器具姿図 その1
		16	【撤去】断面図 3	16	【撤去】壁伏図 2					16	【撤去】電気設備工事 照明器具姿図 その2
		17	【撤去】建具表 1							17	【撤去】電気設備工事 地下1階配管配線図 弱電
		18	【撤去】建具表 2							18	【撤去】電気設備工事 1階配管配線図 弱電
		19	【撤去】矩計図 1							19	【撤去】電気設備工事 2階配管配線図 弱電
		20	【撤去】矩計図 2							20	【撤去】電気設備工事 3階配管配線図 弱電
		21	【撤去】矩計図 3							21	【撤去】電気設備工事 屋階配管配線図 弱電
		22	【撤去】階段詳細図 1							22	【撤去】電気設備工事 弱電器具姿図 その1
		23	【撤去】階段詳細図 2							23	【撤去】電気設備工事 弱電器具姿図 その2
		24	【撤去】階段詳細図 3							24	【撤去】電気設備工事 火災警報系統図
		25	【撤去】階段詳細図 4							25	【撤去】電気設備工事 地下1階配管配線図 火災警報
		26	【撤去】展開図 1							26	【撤去】電気設備工事 1階配管配線図 火災警報
		27	【撤去】展開図 2							27	【撤去】電気設備工事 2階配管配線図 火災警報
		28	【撤去】展開図 3							28	【撤去】電気設備工事 3階配管配線図 火災警報
		29	【撤去】展開図 4・平面詳細図								
		30	【撤去】展開図 5								
		31	【撤去】展開図 6								
		32	【撤去】展開図 7								
		33	【撤去】展開図 8								
		34	【撤去】展開図 9								
		35	【撤去】展開図 10								
		36	【撤去】展開図 11								
		37	【撤去】展開図 12								
		38	【撤去】展開図 13								
		39	【撤去】展開図 14								
		40	【撤去】展開図 15								
		41	【撤去】展開図 16・平面詳細図								
		42	【撤去】部分詳細図 1								
		43	【撤去】部分詳細図 2								
		44	【撤去】部分詳細図 3								
		45	【撤去】部分詳細図 4								
		46	【撤去】天井伏図 1								
		47	【撤去】天井伏図 2								
		48	【撤去】天井伏図 3								
		49	【撤去】横層書架詳細図								
		50	【撤去】エレベーター詳細図 1								
		51	【撤去】エレベーター詳細図 2								
		52	【撤去】エレベーター詳細図 3								
		53	【撤去】エレベーター詳細図 4								
		54	【撤去】エレベーター詳細図 5								
		55	【撤去】エレベーター詳細図 6								
		56	【撤去】外構平面図 1								
		57	【撤去】外構平面図 2								
		58	【撤去】外構平面図 3								
		59	【撤去】外構詳細図 1								
		60	【撤去】外構詳細図 2								
		61	【撤去】外構詳細図 3								
		91	【改修】県立図書館外壁改修図 1								
		92	【改修】県立図書館外壁改修図 2								
		93	【改修】県立図書館外壁改修図 3								

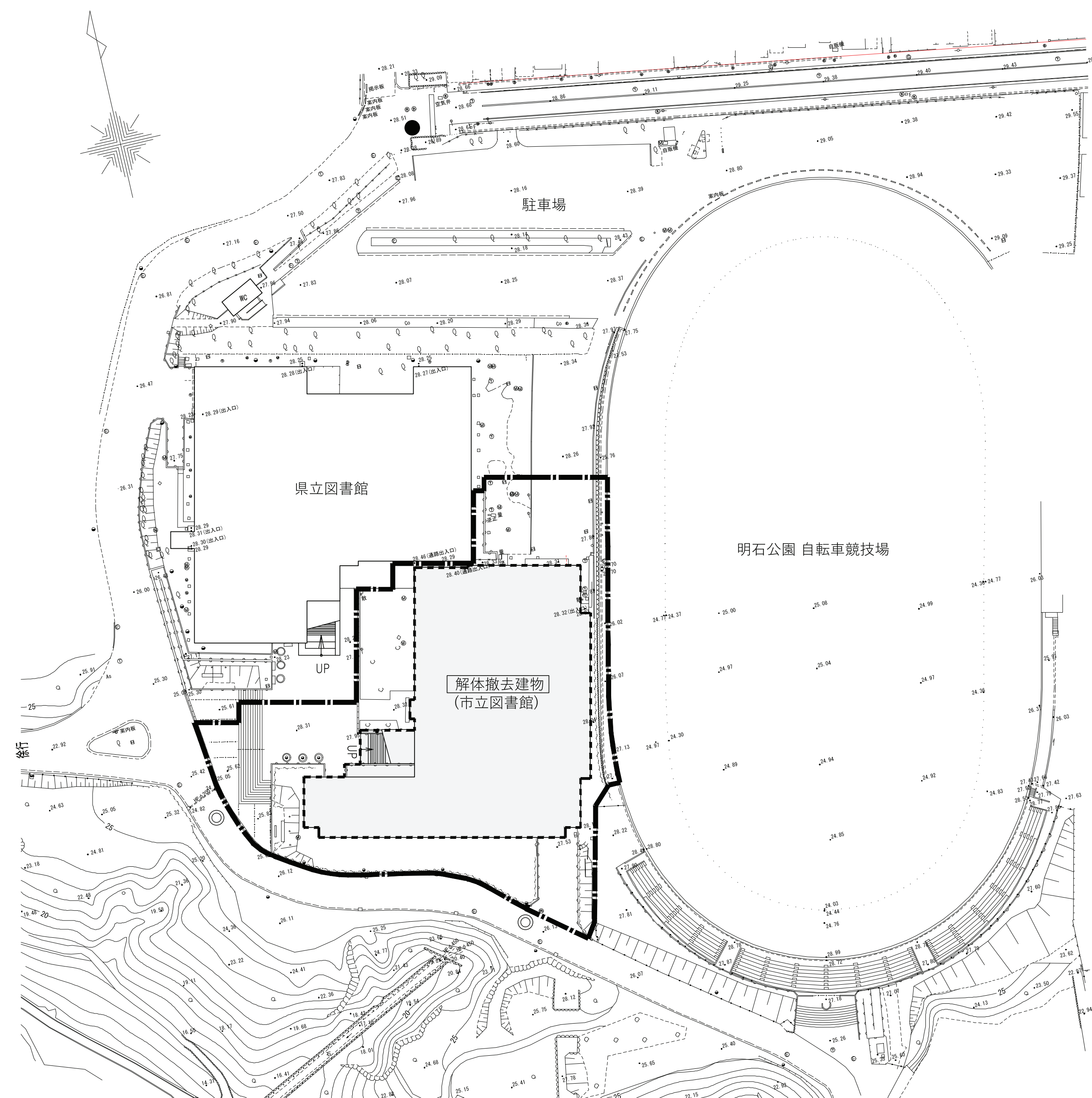
工事概要		第1章 一般共通事項		第1章 一般共通事項		第2章 仮設工事					
項目		特記事項		項目		特記事項					
1	工事名称	旧市立図書館解体工事		※ 除却工事に関する届出等（参考）	建築物等除却工事に関する標準的な届出手続等下記に示す。 各届出の要不要及び条件等は、所管部局に確認すること。 下記に記載がない届出等についても、施工前事前調査の結果等により必要となる各届出については遅滞なく行うこと。	※ 交通安全管理	工事期間中、交通誘導員を常駐配置すること。工事状況や車輛の交通状況に合わせて、適宜増員し安全確保に努めること。 工事車両の通行経路並びに水道等の敷地周辺で行う工事については、監督員と事前協議するものとし、許可等については官公署と協議を行い、必要な手続きを行うこと。 周囲を通行する歩行者や、付近建物等に損傷等を与えないよう十分注意し、仮囲い及び鋼板塀等で養生を施すこと。 車両の出入りや通行を妨げない様、必要に応じ監督員と打合せの上仮門扉を設けること。 車輛の出入口部分の歩道については、損傷を与えないよう十分注意し必要な養生を施すこと。工事車両などによる周辺道路の汚れは、すみやかに清掃すること。				
2	工事場所	兵庫県明石市明石公園 1 ～ 2 7（明石公園内）									
3	工事種目	・ 敷地内全面撤去 ②敷地内部分撤去 ・ 建物内部分撤去									
4	法的規制	区域 ②都市計画区域内 ・ 都市計画区域外 ・ 準都市計画区域 ・ その他 ②市街化区域 ・ 市街化調整区域 用途地域 ・ 第一種低層住居専用 ・ 第二種低層住居専用 ③ 第一種中高層住居専用 ・ 第二種中高層住居専用 ・ 第一種住居 ・ 第二種住居 ・ 準住居 ・ 近隣商業 ・ 商業 ・ 準工業 ・ 工業 ・ 工業専用 ・ 指定なし 防火地域等 ・ 防火 ・ 準防火 ②22条区域 ・ 路線防火 ・ 指定なし 特別用途地区 ・ 指定あり ③指定なし その他地区 ③第3種高度地区 ③宅地造成等工事規制区域									
5	敷地面積	550,000 m ²		※ 施工条件	施工日及び施工期間 ※「解仕」 1.3.5.(1) による ・ 図示 ※ 原則として午前9時から午後5時（準備・片付けの時間を含まない） 工事車両の駐車場所及び資材の置場所 ③ 現地説明書及び監督員との協議による その他の施工条件 ※工事現場内 ・ 図示 ※図示 工事用電力、水道 ③敷地外より引込 ・ 敷地内施設利用 （※有償 ・ 無償） 工事用水道 ・ 敷地外より引込 ③敷地内施設利用 （※有償 ・ 無償）	※ 災害時の安全確保	災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告すること。				
6	撤去概要	撤去建物概要 建物名称 1 棟 棟 棟 棟 用 途 図書館 構 造 鉄筋コンクリート造 階 数（階） 地上3階地下1階 軒 高（m） 13.8m 最高高さ（m） 14.5m 建築面積（㎡） 2,450.66㎡ 延べ面積（㎡） 4,987.00㎡ 撤去面積（㎡） 4,987.00㎡									
7	撤去後建物概要	現存建物 撤去建物 残存建物 建築面積 ㎡ ㎡ ㎡ 建ぺい率 % — % 延べ面積 ㎡ ㎡ ㎡ 容積率 % — % 棟数 棟 棟 棟									
8	工事範囲	①建築物 ②地上部分 ③地中梁、基礎 ④杭 ・ 工作物 ⑤設備機器・配線・配管類 ⑥屋外付帯 ⑦県立図書館外壁改修									
9	別途工事	※ 建物内残置物の撤去 ・ 地中障害物 ・		※ [施工調査] ※ 施工範囲	※ 施工計画書の作成に先立ち、監督職員の立会いの下、施工範囲の確認を行う。	※ 発生材の処理	解体工事に伴い発生する建設副産物の処理 ・ 発注者に引渡しを要する発生材 ※金属類及びポリ塩化ビフェニル含有物 ・ 図示 ・ 工事現場において再利用を図るもの ※図示				
第1章 一般共通事項								※ 有価発生材の処置	有価発生材は特記なき限り、除去工事費から有価発生材の見積価格を除去する方法によって請負者が引取ること。		
項目 特記事項										※ 後片付け	解体撤去後はガラ及びガラス等を敷地外に搬出処分するうえ、地均しをし、清掃を完全に行う。
※ [各章共通事項]											
※ 解体工事仕様書		図面、解体工事特記仕様書及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項で、本工事に関連のある事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修建築物解体工事共通仕様書（令和7年度版）（以下「解仕」という）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年度版）（以下「改仕」という）による。 民間（七会）連合協定工事請負契約約款を用いる工事請負契約においては標準仕様書は一般社団法人公共建築協会編集・発行の「民間（七会）連合協定工事請負契約約款に適合した工事共通仕様書（令和8年版）」を適用する。 工事写真については国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 工事写真の撮り方 建築編（最新版）による。		※ 石綿含有建材の調査	事前調査 ※除却工事に先立ち、既往の調査と現地を確認の上、含有の可能性がある未調査箇所を確認し、分析調査を行う。（想定箇所数 6 か所） ③調査範囲、既存の設計図書、石綿含有建材の調査報告書 ※資与 ③分析調査 ※定性分析又は定量分析						
※ 特記仕様書の適用		（1）項目欄は ※ 印および ③ 印のついたものを適用する。 （2）工事概要欄及び特記事項欄は、③ 印をつけたものを適用する。・ 印は適用しない ③ 印の無い場合は ※ 印を適用し、③と ②のある場合は共に適用する。				※ 周辺建物等調査及び管理	※解体工事に先立ち、敷地周辺の家屋、事業所等の状況調査を行うこと。 発注者の責において専門調査者に委託のうえ、工事着手前に次の調査を行うこと。 ③外観調査 ・ 傾斜測定調査 ・ 水平測定調査 調査範囲については、以下とす。 ・ 図示 ③（ 兵庫県立図書館 ） ※監督職員との協議による。 ※振傷・汚染等が生じた場合は原則として受注者の責において速やかに現況復旧を行うこと。 ※工事の影響の恐れがある箇所は写真撮影を行い、報告を行うとともに、家屋等の所有者・居住者等に説明を行うこと。 ※監督職員が指定した物に判断の材料となる資料を作成すること。 ※工事期間中は、周辺環境に影響を与えぬよう努めるとともに、適宜状況確認を行うこと。 ※工事完了時には、同様に調査を行い、報告を行うこと。				
※ 適用範囲		本特記仕様書は建物のすべて又は一部分を解体撤去する場合の工事に適用する。また、設計関連の優先順位は下記による。 1. 質問回答書 2. 現場説明書 3. 特記仕様書 4. 図面 5. 「解仕」						※ 地中埋設物調査	工事の着手に先立ち、設計図書または試掘調査等によりガス管、電力ケーブル等の地中埋設物の状況を正確に把握すること。試掘等にあたっては監督員と範囲・方法等について打合せの上で実施すること。		
※ 用語の定義		監督員とは、発注者と締結された建築監理業務委託書に記載された監理業務を行う監理者をいう。								※ [施工] 技能士	③ 技能士 工事の種類 適用する技能検定の種類 ③解体工事 ③とび（1級） ③石綿含有建材の除去及び処理 ③石綿作業主任者 ・ ・
※ 単位		本仕様書の寸法数字は特記なき限り（mm）とする。		※ 工事関係図書	※監督職員の指示に基づき作成、納品のこと。						
③ 工事実績情報サービス(CORINS)への登録		※ 請負代金額が500万円以上の場合、適用する。				※ 実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し監督員の承諾を受けること。				
※ 監督員の承諾、検査、試験		機器、材料、施工、工事が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施工図、工作図、製作図、見本などに対する監督員の承諾、あるいはそれらに対する監督員の検査又は試験は、受注者の責任を軽減するものではない。						※ 施工計画書	工事の着手に先立ち、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設副産物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し、監督員に提出すること。		
※ [工事現場管理] 電気保安技術者		適用する								※ 施工中の安全確保	安全、衛生に関する管理は、受注者がその責任において関係法令に準拠し行うこと。 建物内の火気の使用は、原則として禁止する。鉄板のガス切断等火気使用時には、可燃物に引火しないよう十分注意し、適切な措置を講ずること。 枠組足場を設置する場合は「手すり先行工法に関するガイドライン」を遵守すること。 足場は労働安全規則を遵守した計画とすること。 山留を使用する場合は関係法令等に従うと共に、適切な資料に基づき構造計算を行い、安全に設置すること。 重機等を使用する工程では、図示によるもののほか適宜、鉄板による養生などを請負者の責任において本工事の範囲内で行うこと。
※ 関係法令等の遵守		工事の施工に当たり、工事請負契約書、建築基準法、建設業法、労働基準法、労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）等の適用を受ける関係法令を遵守すること。		③ 給排水管の撤去	※ 図面及び仕様書に記載されていない事項はすべて以下の最新版による。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」 「公共建築設備工事標準準図（機械設備工事編）」 ※発生材の処理は「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）第1編1.3.6(5)」により場外処分とする。関係法令に従い適切に処分し報告書を監督員に提出すること。 ※給水本管（直圧部）の閉栓等は、各水道事業供給条にもとづく施工者によること。						
※ 官公署その他への届出手続等		工事施工及び建物の使用開始（仮使用含む）に必要な書類、図面の作成、及びその関係官庁への申請手続きは、受注者の負担にて遅滞なく行うこと。但し、建築基準法第7条から第7条の4までに定められる検査に要する申請手数料は本工事に含まない。									

明石市政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	02	特記仕様書 1	見蔵版 2026.07.16
久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号			最終校閲版

[illegible]

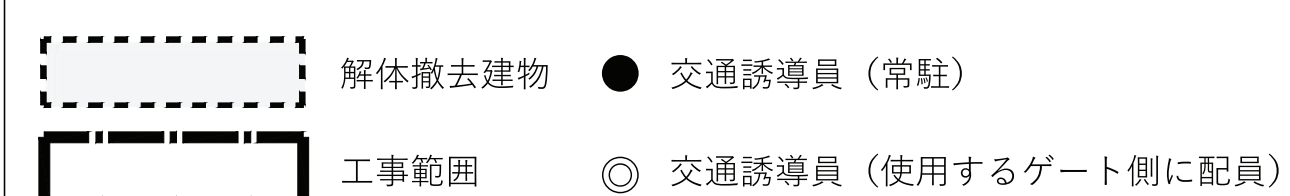


付近見取図 1/7000

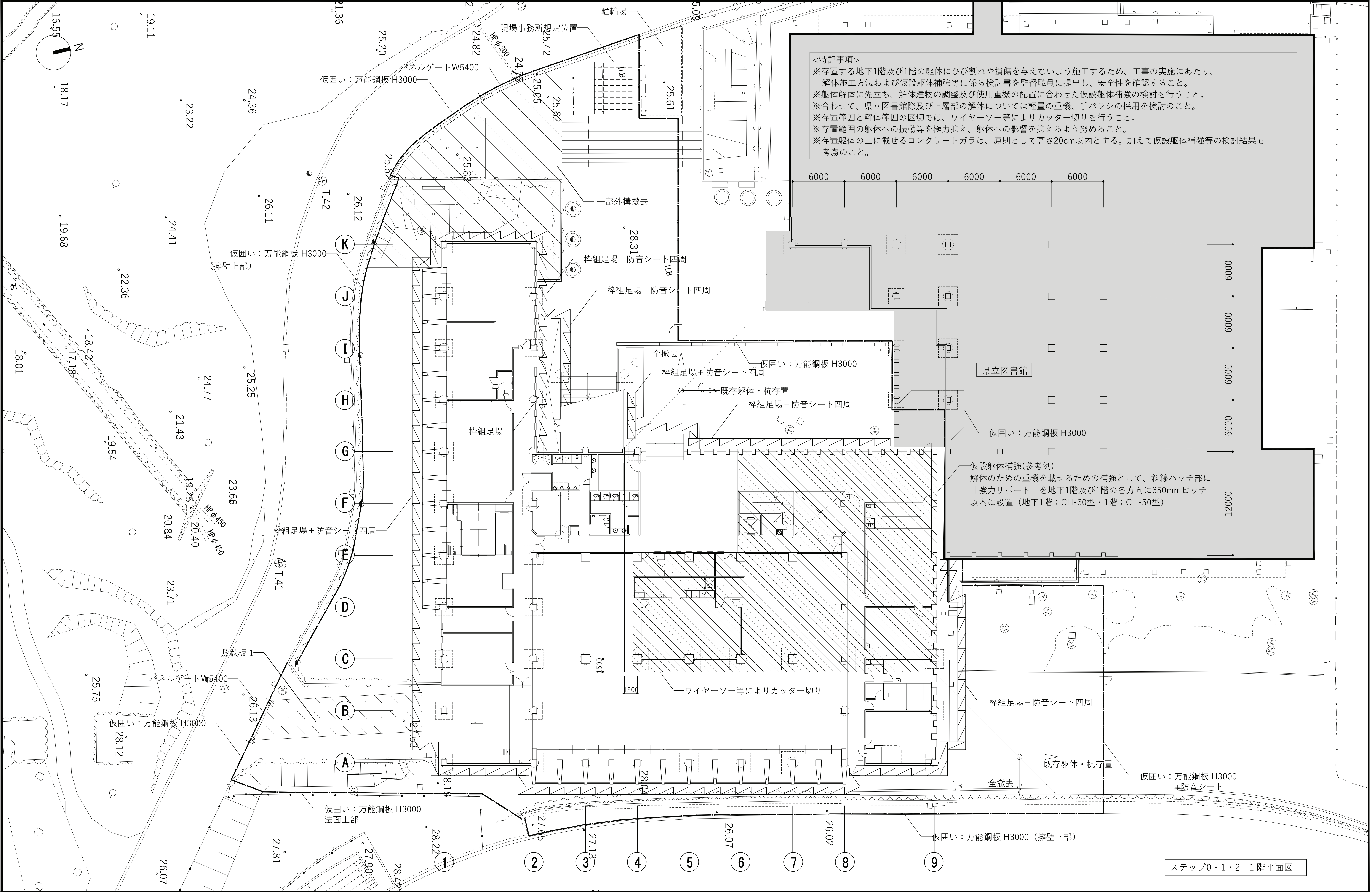


配置図 1/700

凡例



 明石市政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
 SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	05	付近見取図・配置図	見稿版 2026.07.16
久保 岳 一般建築士 大臣登録第310130号		S=1/ 700. 7000	最終契約版



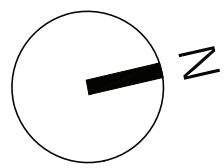
※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

- STEP 0
- ①近隣説明
 - ②準備工事

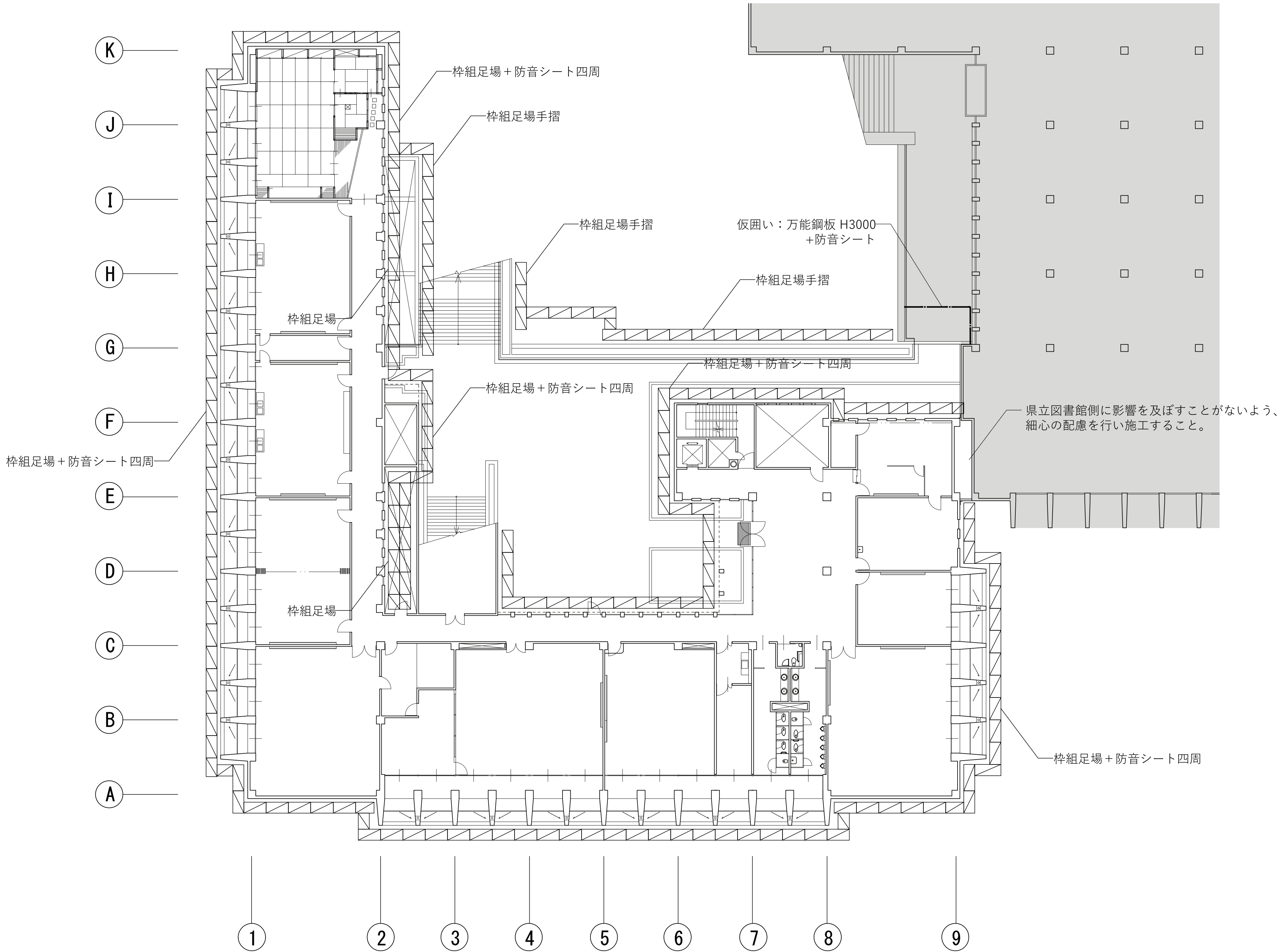
- STEP 1
- ①仮囲い・足場等設置
 - ②内外装仕上撤去
 - ③設備撤去
 - ④アスベスト除却
 - ⑤地下階及び1、2階の仮設補強
 - ⑥一部外構撤去

- STEP 2
- ①地上躯体、1階の一部を残し撤去

明石市政政局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	06	仮設計画図 1（参考図）	見直し版 2026.07.16
		S=1/200	最終契約版



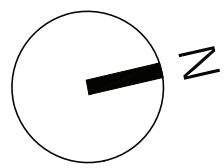
<特記事項>
※存置する地下1階及び1階の躯体にひび割れや損傷を与えないよう施工するため、工事の実施にあたり、解体施工方法および仮設躯体補強に係る検討書を監督職員に提出し、安全性を確認すること。
※躯体解体に先立ち、解体建物の調整及び使用重機の配置に合わせた仮設躯体補強の検討を行うこと。
※合わせて、県立図書館際及び上層部の解体については軽量の重機、手バラスの採用を検討のこと。
※存置範囲と解体範囲の区切では、ワイヤーソー等によりカッター切りを行うこと。
※存置範囲の躯体への振動等を極力抑え、躯体への影響を抑えるよう努めること。
※存置躯体の上に載せるコンクリートガラは、原則として高さ20cm以内とする。加えて仮設躯体補強等の検討結果も考慮のこと。



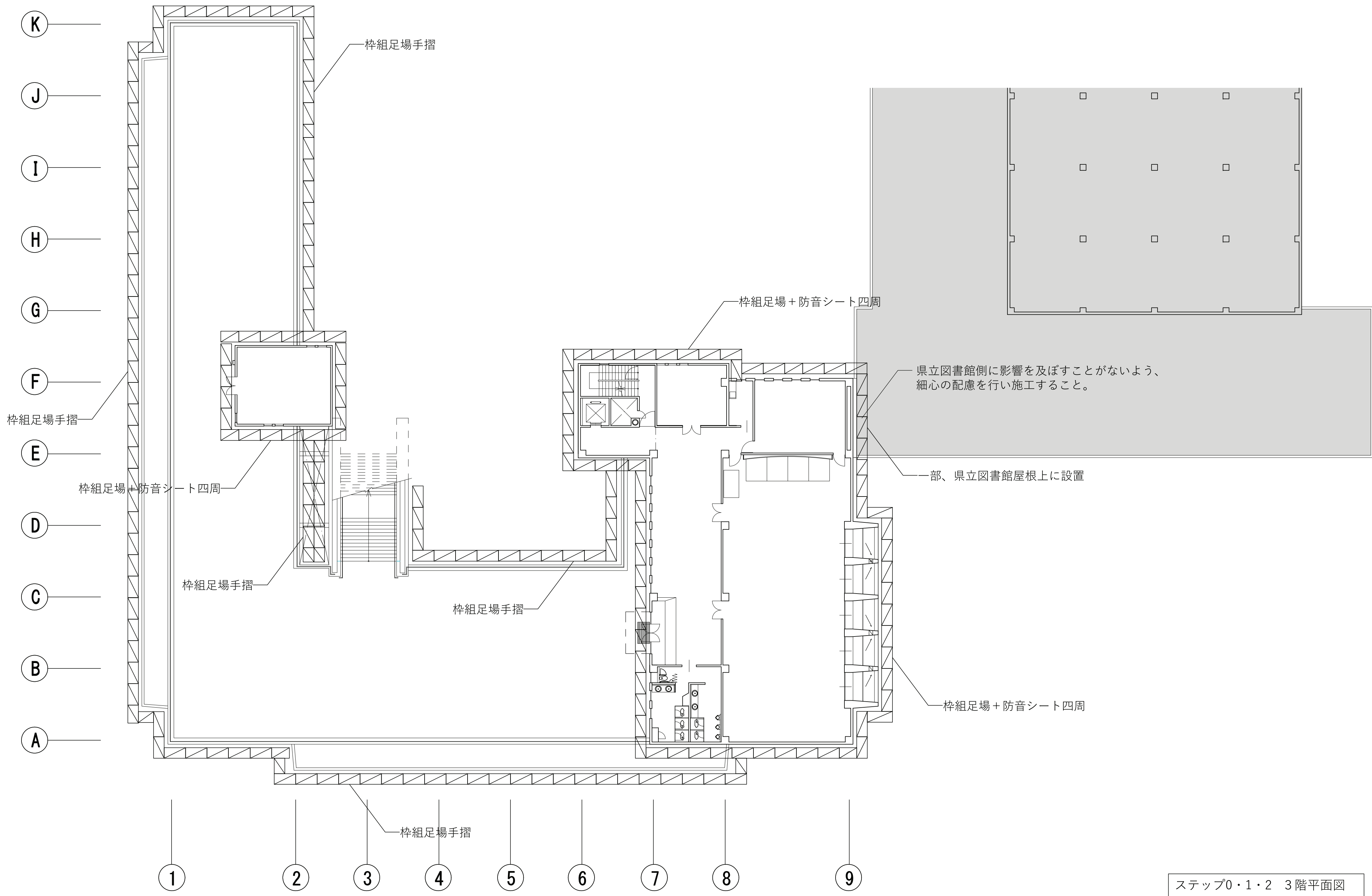
ステップ0・1・2 2階平面図

※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

明石市政政局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
 SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計 久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	07	仮設計画図 2 (参考図)	見直し版 2026.07.16
		S=1/200	最終契約版



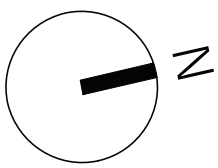
<特記事項>
※存置する地下1階及び1階の躯体にひび割れや損傷を与えないよう施工するため、工事の実施にあたり、解体施工方法および仮設躯体補強等に係る検討書を監督職員に提出し、安全性を確認すること。
※躯体解体に先立ち、解体建物の調整及び使用重機の配置に合わせた仮設躯体補強の検討を行うこと。
※合わせて、県立図書館際及び上層部の解体については軽量の重機、手バラスの採用を検討のこと。
※存置範囲と解体範囲の区切では、ワイヤーソー等によりカッター切りを行うこと。
※存置範囲の躯体への振動等を極力抑え、躯体への影響を抑えるよう努めること。
※存置躯体の上に載せるコンクリートガラは、原則として高さ20cm以内とする。加えて仮設躯体補強等の検討結果も考慮のこと。



ステップ0・1・2 3階平面図

※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

明石市政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
 SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計 久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	08	仮設計画図 3（参考図）	見直し版 2026.07.16
		S=1/200	最終契約版



<特記事項>

※存置する地下1階及び1階の躯体にひび割れや損傷を与えないよう施工するため、工事の実施にあたり、解体施工方法および仮設躯体補強に係る検討書を監督職員に提出し、安全性を確認すること。
※躯体解体に先立ち、解体建物の調整及び使用重機の配置に合わせた仮設躯体補強の検討を行うこと。
※合わせて、県立図書館際及び上層部の解体については軽量の重機、手バラスの採用を検討のこと。
※存置範囲と解体範囲の区切では、ワイヤーソー等によりカッター切りを行うこと。
※存置範囲の躯体への振動等を極力抑え、躯体への影響を抑えるよう努めること。
※存置躯体の上に載せるコンクリートガラは、原則として高さ20cm以内とする。加えて仮設躯体補強等の検討結果も考慮のこと。

K

J

I

H

G

F

E

D

C

B

A

桝組足場手摺

桝組足場＋防音シート四周

桝組足場手摺

F

E

6

7

8

桝組足場手摺

1

2

3

4

5

6

7

8

9

ステップ0・1・2 塔屋階平面図

※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。



明石市政政局 プロジェクト推進室

旧市立図書館解体工事



株式会社 昭和設計

久保 岳
一級建築士 大臣登録第310130号

GEN

総合

最終版

2026.09.30

09

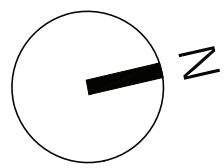
仮設計画図 4（参考図）

見直し版

2026.07.16

S=1/200

最終契約版



<特記事項>

※存置する地下1階及び1階の躯体にひび割れや損傷を与えないよう施工するため、工事の実施にあたり、解体施工方法および仮設躯体補強等に係る検討書を監督職員に提出し、安全性を確認すること。

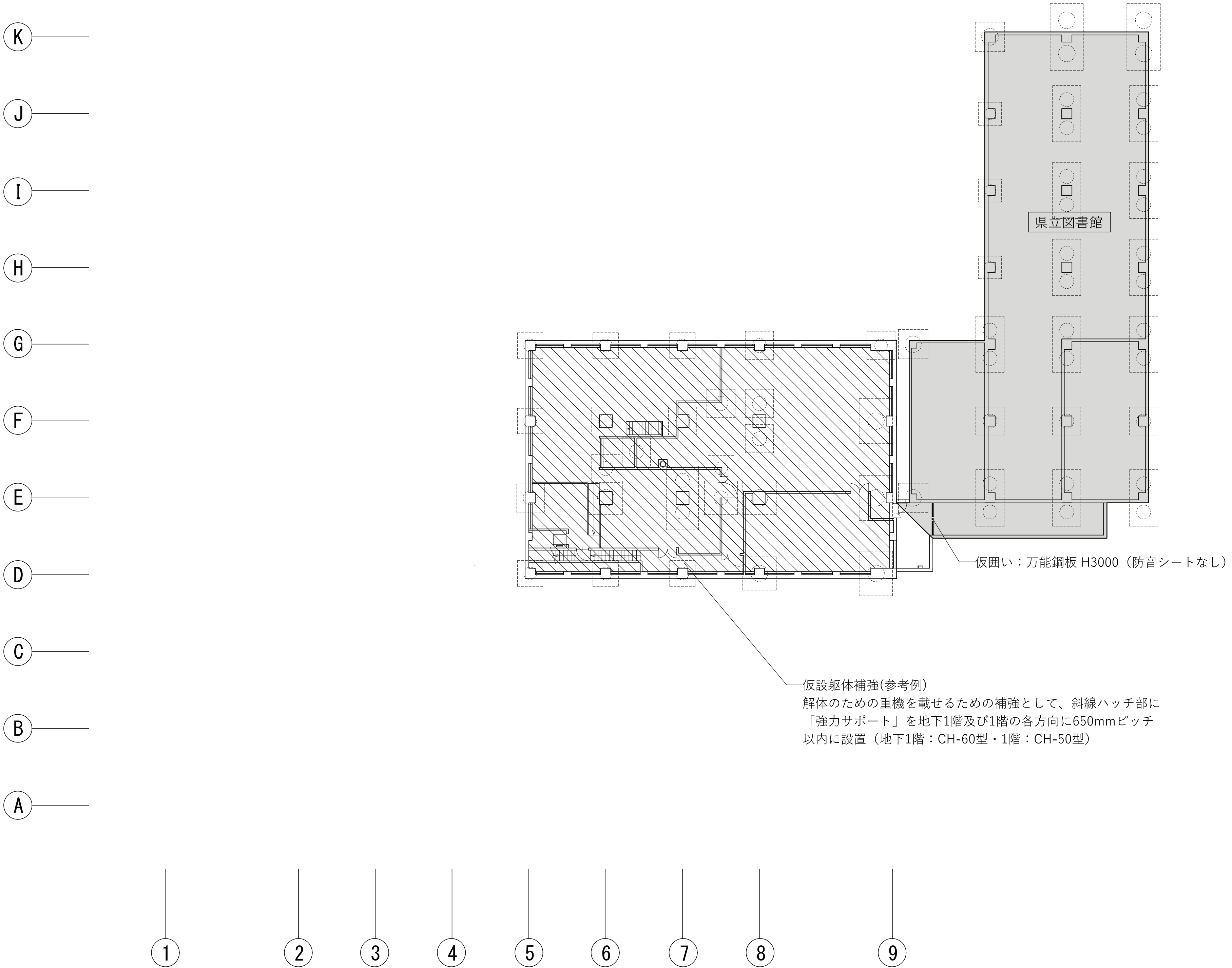
※躯体解体に先立ち、解体建物の調整及び使用重機の配置に合わせた仮設躯体補強の検討を行うこと。

※合わせて、県立図書館際及び上層部の解体については、手バラスの採用を検討のこと。

※存置範囲と解体範囲の区切では、ワイヤーソー等によりカッター切りを行うこと。

※存置範囲の躯体への振動等を極力抑え、躯体への影響を抑えるよう努めること。

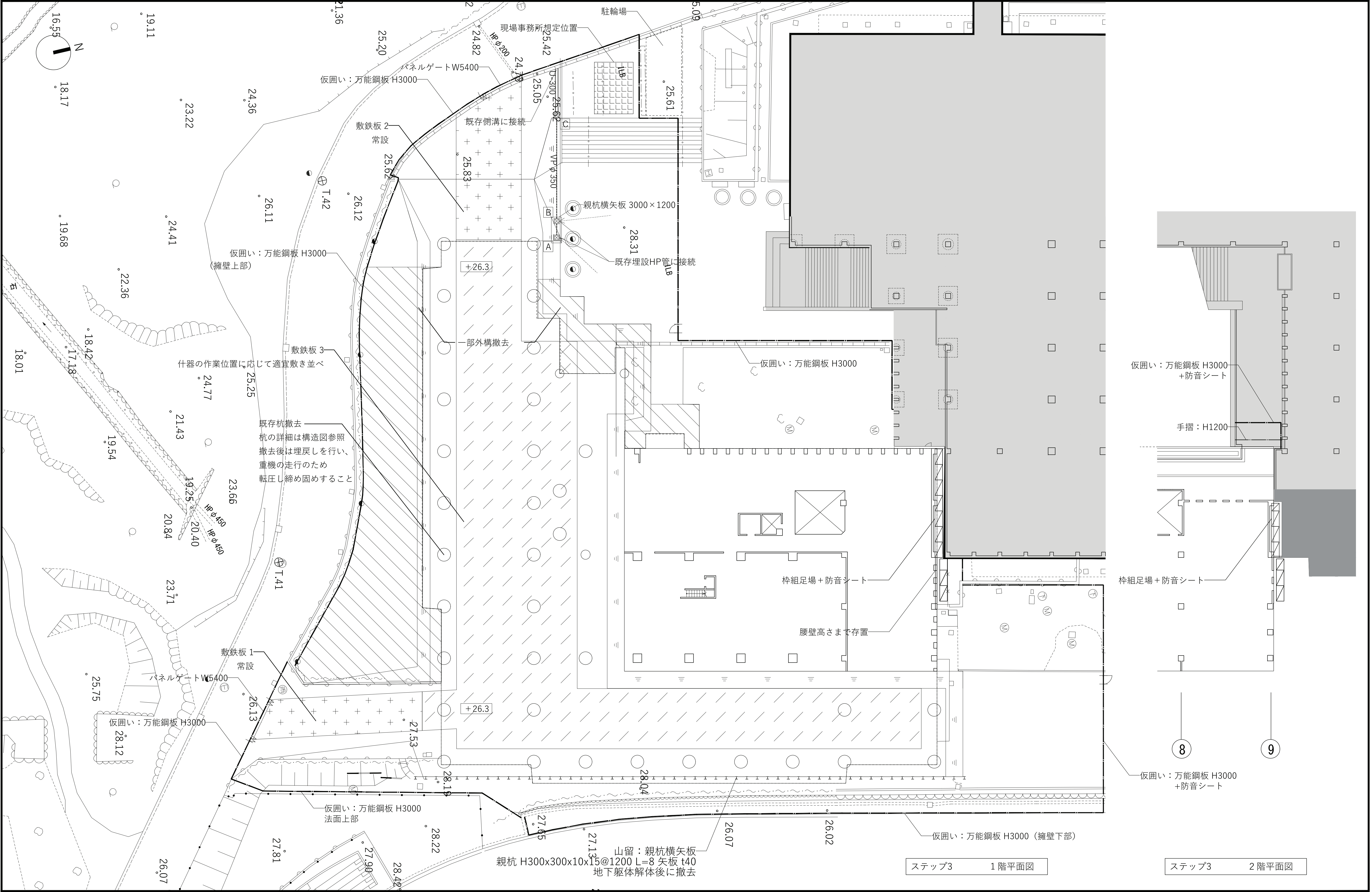
※存置躯体の上に載せるコンクリートガラは、原則として高さ20cm以内とする。加えて仮設躯体補強等の検討結果も考慮のこと。



ステップ0・1・2 地下階平面図

※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

明石市政政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
 SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計 久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号	GEN	総合	最終版 2026.09.30
	10	仮設計画図 5（参考図）	見直し版 2026.07.16
		S=1/200	最終契約版



※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

STEP 3

- ①県立図書館外壁補修
- ②県立図書館2階屋外部に手摺新設
- ③外構撤去

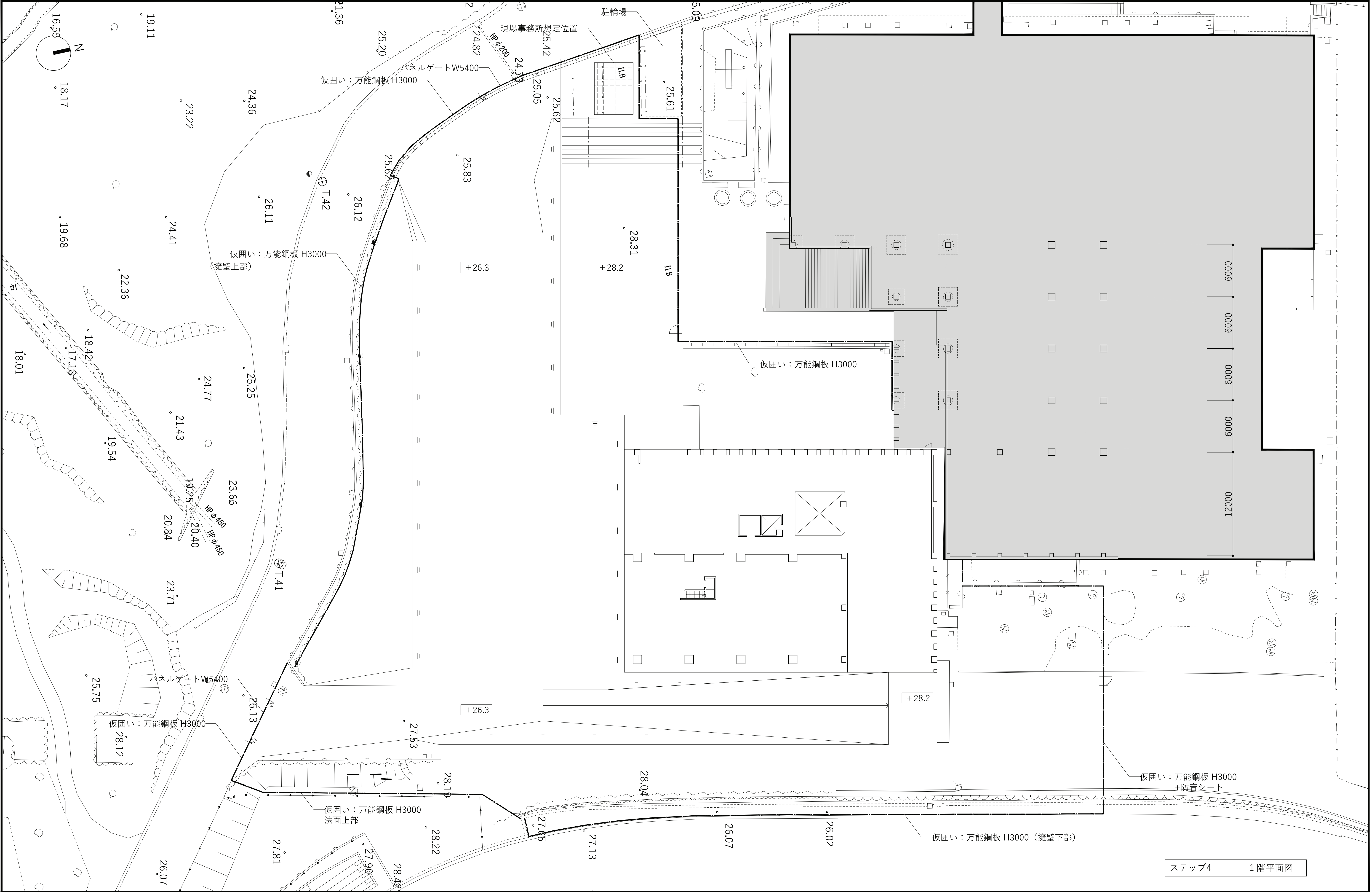
明石市政政策局 プロジェクト推進室

SHOWA SEKKEI
株式会社 昭和設計

久保 岳
一級建築士 大臣登録第310130号

旧市立図書館解体工事

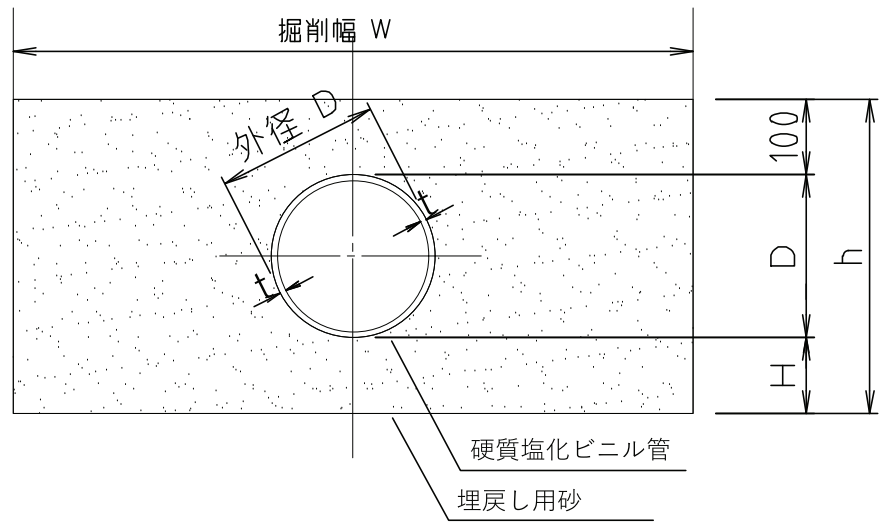
GEN	総合	最終版	2026.09.30
11	仮設計画図 6 (参考図)	見直し版	2026.07.16
		S=1/200	最終契約版



※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、
監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

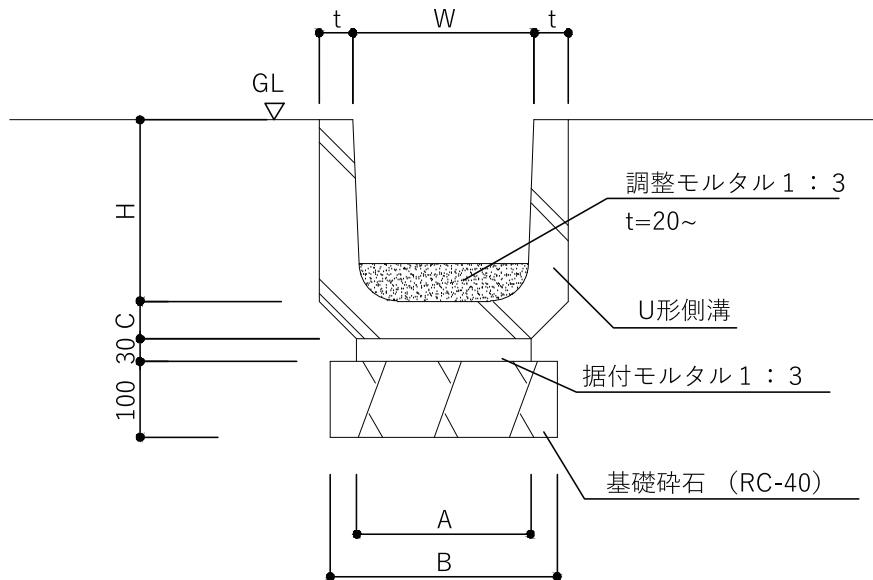
STEP 4
①整地

明石市政政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
GEN 12	総合	最終版	2026.09.30
	仮設計画図 7 (参考図)	見直し版	2026.07.16
S=1/200		最終契約版	



記 号	寸 法 表 (単位mm)				
	呼び径	外径D	t	H	h
VP150	150	165	8.9	100	265
VP200	200	216	10.3	100	416
VP250	250	267	12.7	100	467
VP300	300	318	9.0	100	518
VP350	350	370	10.0	100	570

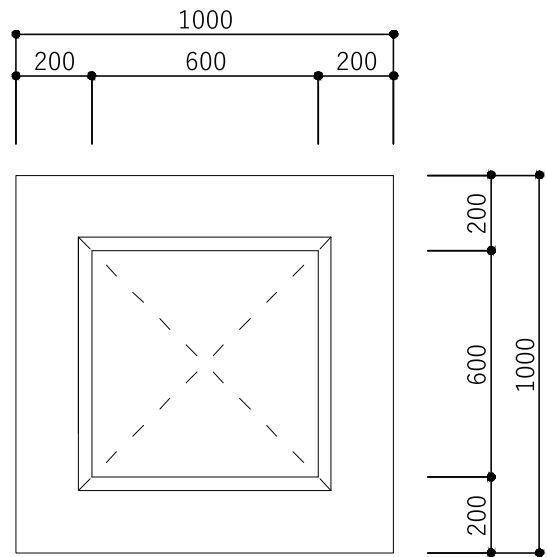
仮設雨水排水管詳細



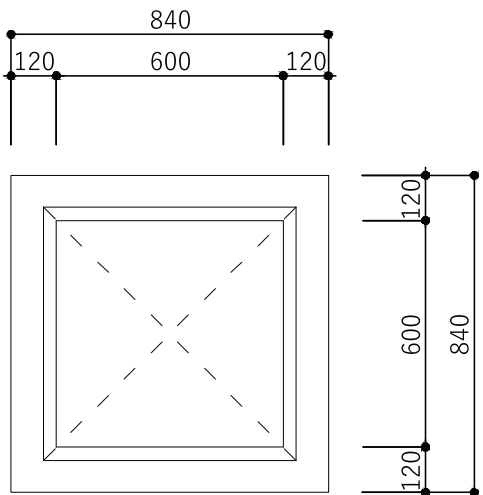
※調整モルタルにより、水勾配0.3%以上を確保すること。

	W	H	t	A	B	C
U180	180	180	35	210	270	40
U240	240	240	45	240	300	50
U300	300	300	50	300	360	60

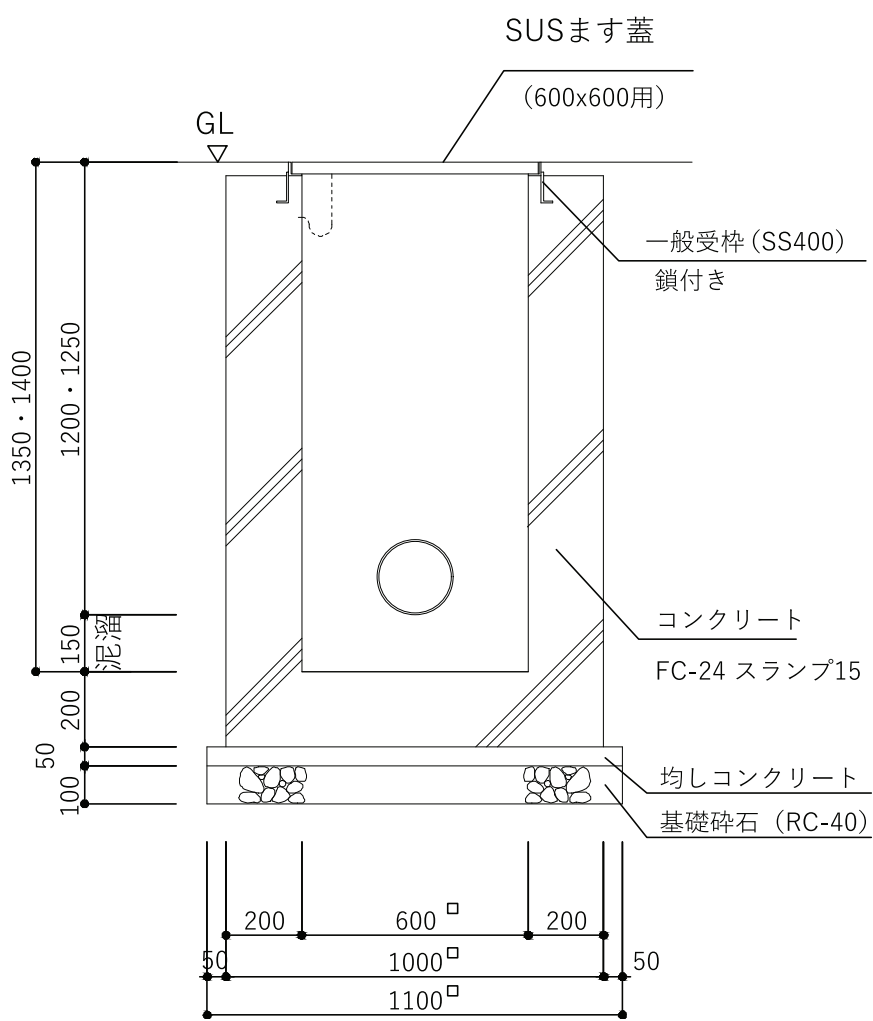
仮設雨水側溝詳細



平面図



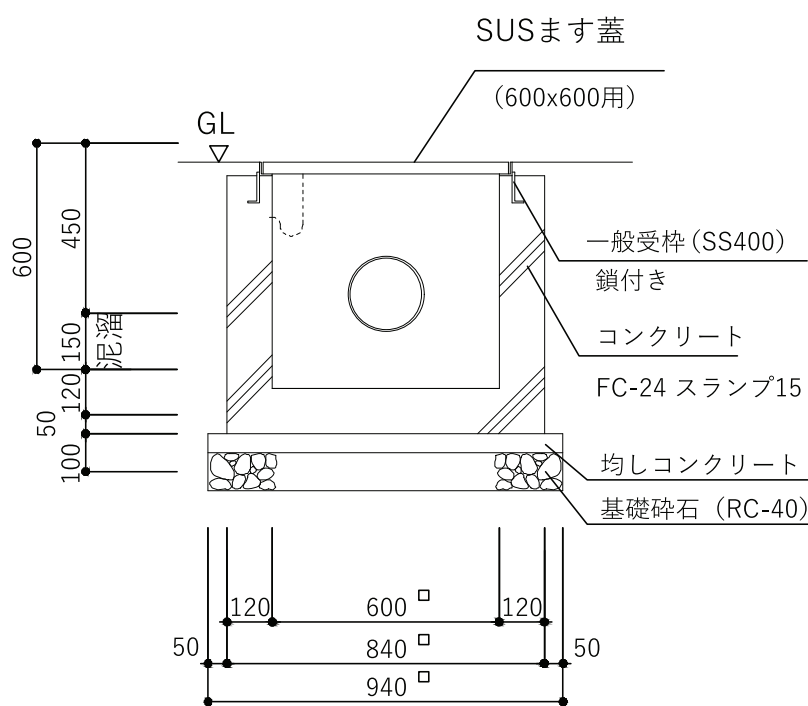
平面図



断面図

※配筋D13@200縦横共とする。

仮設雨水会所A・B詳細



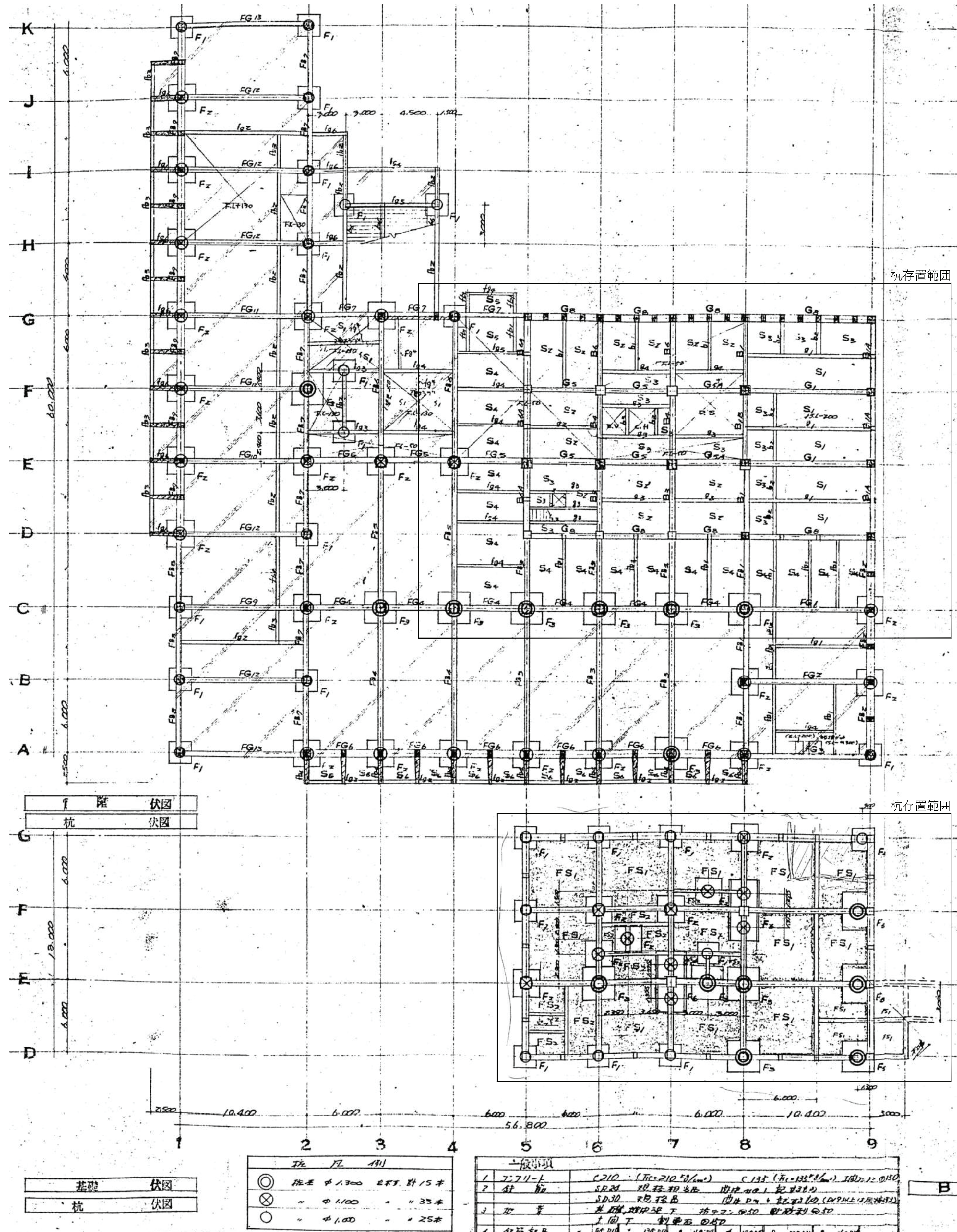
断面図

※配筋D10@200縦横共とする。

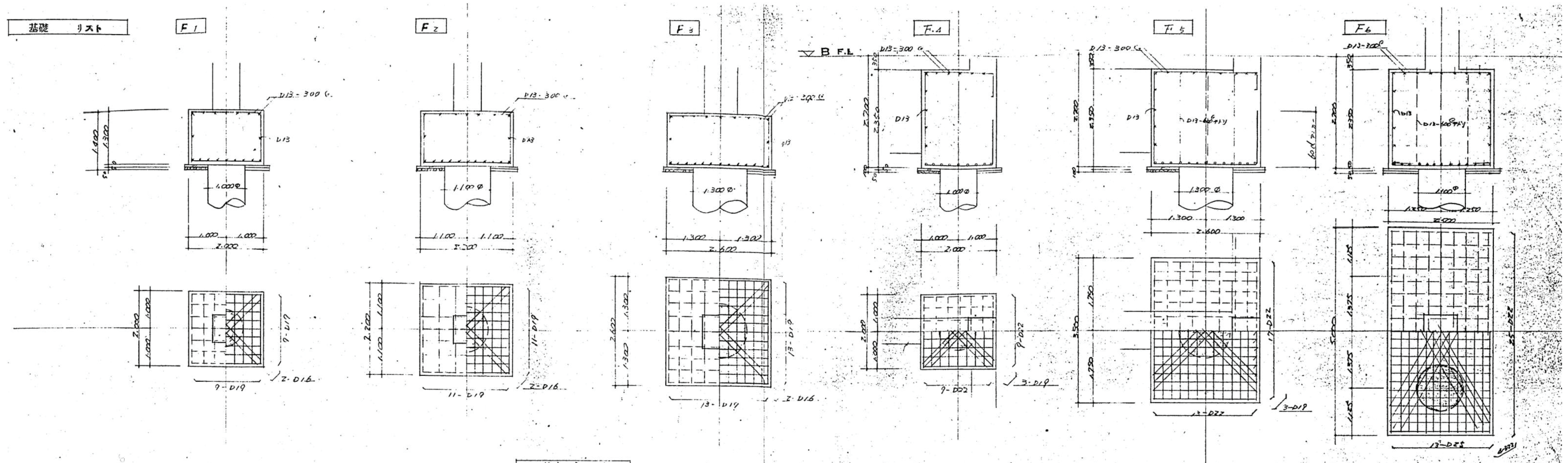
仮設仮設雨水会所C詳細

※本図は参考図であり、請負者の責により仮設計画及び施工計画及び工事工程を作成し、
監督職員の承認を得たうえで工事を実施すること。

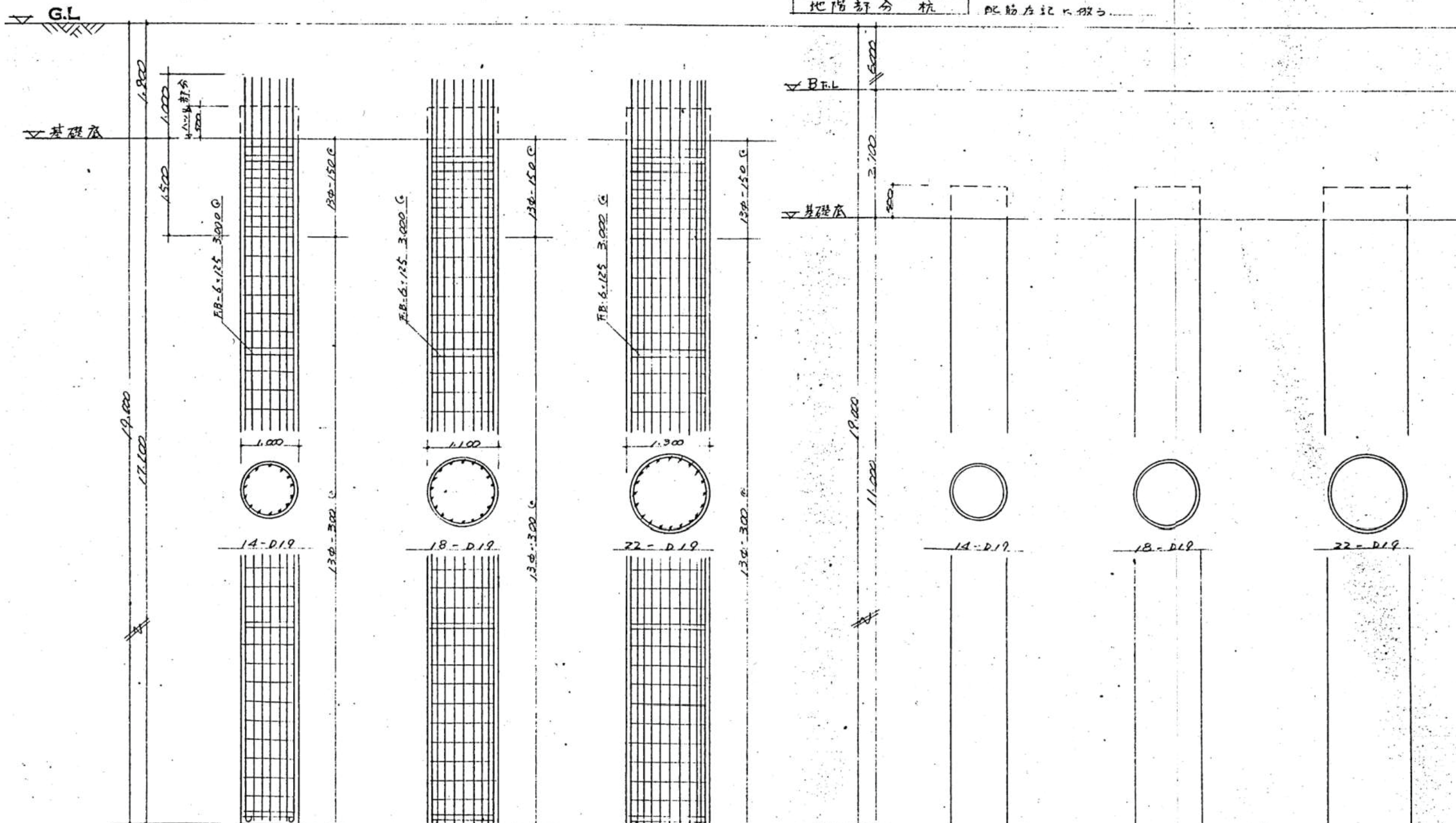
 SHOWA SEKKEI 株式会社 昭和設計 久保 岳 一級建築士 大臣登録第310130号	明石市政政策局 プロジェクト推進室		旧市立図書館解体工事	
	GEN	総合	最終版	2026.09.30
	13	仮設詳細図 (参考図)	見直し版	2026.07.16
			S=1/100	最終契約版



F6



配筋左記に依る



土質調査記録簿 No. 1

調査地点 柳井地蔵 井ノリング方法

調査年月日 地下水位

層 厚 (m)	深度 (m)	土質 記号	観察打込試験 (打込回數-N)
0			11 20 30 40
2		砂	
4	4.50	砂	
6			
8			
10	9.50	砂	
12			
14		砂	
16		砂	
18	18.50	砂	
20		砂	
22			

土質柱状断面図 (No. 2)

調査地点
調査年月日

ボーリング方法
地下水位

総掘込込試験
(打撃回数-N)

層 (m)	深度 (m)	土質 記号	総掘込込試験 (打撃回数-N)
0	0.45		
2	0.70		
4			
6	0.70		
8			
10			
12			
14			
16	1.35		
18	18.70		
20			
22			
24			

土質性状断面図 (No. 5)

調査地点: ボーリング方法
 調査年月日: 地下水位

深度 (m)	土質記号	振打値 (N)
0	砂	0
2	砂	10
4	砂	20
6	砂	30
8	砂	40
10	砂	50
12	砂	60
14	砂	70
16	砂	80
18	砂	90
20	砂	100
22	砂	110

杭	
1. 杭種	・ 〆 ノ ト 杭
2. 材料	・ コンクリート $F_c = 180 \text{ } ^{N/mm^2}$ スランポ 19 ^{mm} ・ 鉄筋 SD30 (主筋), SR24 (h.o.p) ・ 継手 重力継手 ・ 板 リ 100
3. 設計耐力	$1000 \text{ } ^{kg}$ 長期 $R_a = 160 \text{ } ^{kg}$ 、短期 $R_a = 320 \text{ } ^{kg}$ $1,100 \text{ } ^{kg}$ $R_a = 240$ $R_a = 480$ $1,300 \text{ } ^{kg}$ $R_a = 330$ $R_a = 660$

